

命を守り、生活を支える

看護職とは…命を見つめ、命を守り、たくさんの人々の生活、そして人生を支える大きな役割を果たしています。
生涯を通じて得られる喜びと達成感は、一人の人間としてこの上ない幸福感に満ちています。
岡山大学病院のシンボル「楷の木」のように、しなやかに「根を張る・育つ」看護職を目指して…
さあ、岡山大学病院で、あなたのキャリアを実らせてください。



看護部理念

PHILOSOPHY



質の高い(安心・安楽・安全な)看護サービスを効果的に(effectively)、効率的に(efficiently)、倫理的に(ethically)、エンパワーメント(empowerment)を通して提供する。

effectively / efficiently / ethically / empowerment
効果的に / 効率的に / 倫理的に / エンパワーメント

〈岡山大学病院 理念〉

高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育て、
社会・地域の持続的な健康増進に貢献します。

〈ロゴマーク〉

このデザインには

- 優しいピンク色を基調に、看護部のエンゲージメント(愛着心・思い入れ)をイメージしてハートのデザイン
- ロゴタイプは丸みのある優しい「丸ゴシック」
- 看護部の理念「4e」はハートのふちに4色入れることで表現
- コンセプトである「みんなで育とう、育てよう」の「育つ」を意識して、植物が育つイメージで葉っぱをモチーフにといった思いが込められています。



患者さん・職員のより善さを志向して、探究し、クリエイティブに解く

私たちは、「高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育てる」病院の理念のもと、多職種が各々の専門性を発揮し、その相乗効果をもって高度先進医療の提供に尽力しています。

低侵襲手術やゲノム医療をはじめとした医療の発展は、患者さんの治療選択の幅を大きく広げています。私たち看護職は、患者さんの意思や価値を引き出し、納得して治療に臨めるように支援します。そして、関係多職種が患者さんにとっての最善を志向し、連携・協働しています。

当院看護部は、「『求められる看護』・『ありたい看護』の実現」を支える豊富な教育プログラムを準備しています。急変の前兆や回復の兆しを逃さず命を守り、タイムリーに回復を支援できるように自分を磨く環境があります。

また、職員の「学びたい・成長したい・働き続けたい」を叶えるために、個々のキャリア支援や夜勤負担の軽減等の働きやすい職場環境創りを進めています。そして、進歩するテクノロジーを駆使しながら、業務効率化にも取り組んでいます。これらは、生産年齢人口が減少する時代においても私たちが豊かに働き続けられ、看護の専門性を発揮し続ける新たな看護のカタチを創るためです。

私たちは、いつの時代も変化を推進力に変えて、理念の具現化に取り組んでいます。あなたも一緒に岡山大学病院で「求められる看護」・「ありたい看護」の実現を目指しませんか。



岡山大学病院
看護部長

岩谷 美貴子

看護の現場から

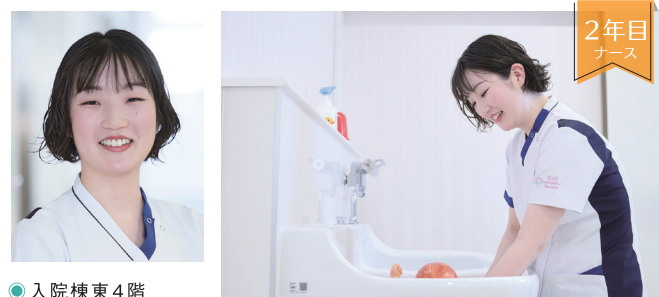
私のキャリア



新人
ナース

●入院棟西10階

看護師になったきっかけは、幼少期の入院経験です。初めは不安しかなかった入院でしたが、辛いときに必ず側にいて寄り添ってくださった看護師さんのおかげで安心して入院生活を送ることができたことを覚えています。当院を志望したのは、スキルラボが充実しており、実際に患者さんに技術を実施する前に演習が行える点に魅力を感じたからです。今後日々進歩する医療や看護において常に新しい知識を得ながら倫理的に行動できるよう研鑽していきたいと思っています。



2年目
ナース

●入院棟東4階

出産を通してその人の人生を支援したいと思い助産師になりました。現在は合併症を持つ妊婦さんの観察や褥婦さんへ授乳の指導、新生児のケアなどを行っています。実際に働いてみて感じた当院の魅力は、多職種が連携して妊産婦さんを支え、一人では解決できない問題でもチームで協力して対応するところです。妊産婦さんに最善のケアを提供できるため、その瞬間にやりがいを感じています。日々の仕事では、患者さんに正直に接するよう心がけ、患者さんに対して常に誠実でありたいと思っています。



ベテラン
ナース

●臓器移植医療センター

レシピエント移植コーディネーターとして、臓器移植を受ける方とご家族、生体移植のドナーとなる方への、術前の情報提供・意思決定支援から術後の外来フォローに関する仕事をしています。患者さんの命や人生に関わる仕事のため大変なこともありますが、それだけやりがいや喜びもあります。チームで力を合わせ、患者さんの思いや選択に寄り添った支援をしていきたいと思っています。また壁にぶつかったり、悩んだりしたときに学びたいという気持ちになったら、様々なキャリアプランを選択することができるのも当院の魅力です。



ベテラン
ナース

●外来II

歯科外来と形成外来で勤務しており、歯科外来では周期看護を、形成外来では診察・処置の介助を行なっています。当院の魅力は、母になっても家庭とのバランスを取りながら働けることです。私は4人の子供がいますが、家族の協力はもちろん、職場の理解があり体制が整っているので、休みを取りやすい環境だと思います。また、多職種とも連携しながら一緒に患者さんの希望を達成できた時の喜びも大きなやりがいです。ぜひ私たちと一緒に、喜びを分かち合っていきたいです。

私たちのチーム



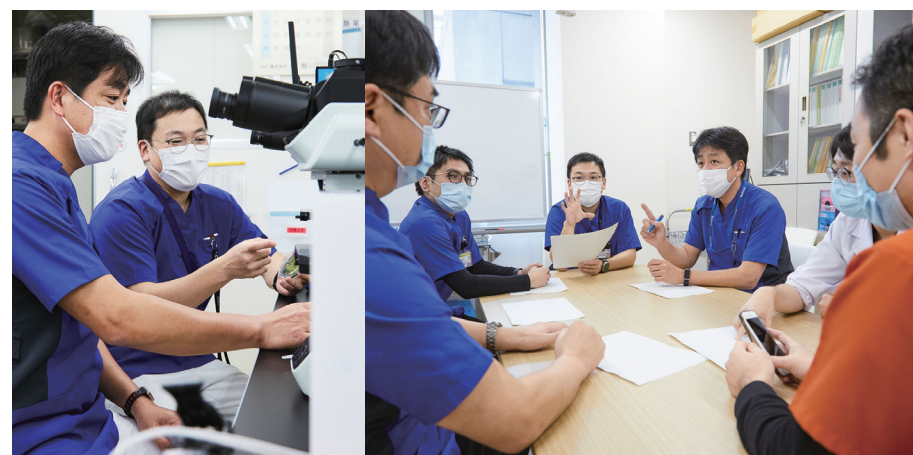
身体的拘束最小化チーム

身体的拘束最小化チームは、2024年に立ち上がった新しいチームです。医師、看護師等の多職種チームで、看護部・医療安全管理部と協働しています。人の体を縛り、自由を奪うことは非人道的行為ですが、鎮静下にある患者さん、せん妄の患者さん、ベビーや子供たちは状況を適切に認識できず、デバイスの自己抜去や転倒・転落の可能性があります。命を守るためにやむを得ず身体的拘束を行うことがあります。そうした状況下、私たちのチームは、患者さんの尊厳を守り、身体的拘束ができるだけ必要最小限かつ安全に行えるように活動しています。



院内迅速対応チーム(RRT)

RRT(Rapid Response Team)は、院内急変対応システムRRS(Rapid Response System)に基づいて、患者さんの急変に対応する専門チームです。RRTの看護師は、明確なRRS起動基準をもとにスタッフからの要請で現場へかけつけ、患者さんの状態をアセスメントし、タイムリーな介入と調整を行っています。院内の予期せぬ心肺停止の前兆を早期に認識して介入することで、不測の心肺停止を減少させ、患者さんにより安心・安全な医療を提供できるように、院内で横断的な活動を行っています。



感染制御チーム(ICT)

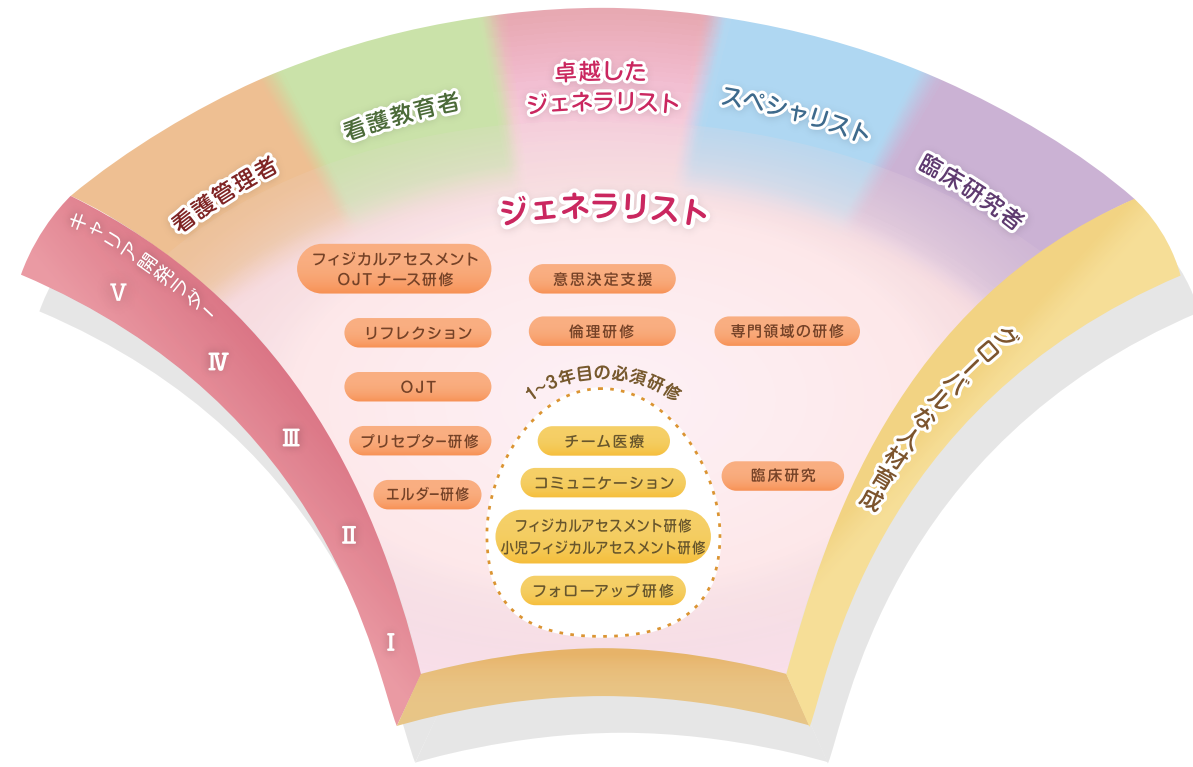
ICT(Infection Control Team)は医療に関わるすべての人々を様々な感染から守るために、多職種で一丸となって活動を進めています。日頃から感染制御に関わる看護師を身近に感じてもらいながら、現場のスタッフが感染対策をケアや処置へ効率よく組み込んでいけるよう、支援を行っています。特に「手指衛生」は、ケアや処置の基本となる感染対策になります。感染対策を行わないケアや処置はありません。自分を守ると同時に、患者さんやご家族を私たちと一緒に、感染から守っていきましょう。



臨床倫理コンサルテーションチーム(ECT)

臨床倫理コンサルテーションチーム(Ethics Consultation Team)は、医療現場で生じた倫理的課題に対する意思決定を支援する多職種チームです。治療選択の幅が広がる中、多様な価値観や背景を踏まえ、患者さんの思いを尊重した最善の医療が求められています。時に患者さんにとっての最善とは何か、医療従事者として何ができるかと思悩むこともあります。私たちは、その感受性を尊重し、よりよい情報共有や解決方法の検討、医療従事者のジレンマの軽減など医療ケアチームでの対話と一緒に活動を行っています。

キャリアパス



岡山大学病院では、生涯働き続けるためのキャリアパスが整備されています。一般的なキャリアとしては、採用から3年間で看護職員として基盤となる教育を受け、一人前の【ジェネラリスト】に成長します。その後は、卓越した看護を提供できる(キャリア開発ラダーV)【卓越したジェネラリスト】を目指します。また【看護管理者】【看護教育者】【スペシャリスト】【臨床研究者】というキャリアパスも準備されており、これらを選択し、キャリアを広げることができます。キャリアに対する考え方は変化していくため、一旦選択したキャリアパスの変更も可能です。

各キャリアパスの定義

| | |
|-------------|--|
| ジェネラリスト | いかなる領域・対象においても、基本となる知識・技術を応用し、安心・安楽・安全な看護を提供できる者 リーダーの役割がとれる者 |
| 卓越したジェネラリスト | いかなる領域・対象においても、豊かな経験知と技術を巧みに駆使し、臨床現場の最前線で卓越した看護を追求する者 |
| 看護管理者 | 質の高い看護サービスが提供できるよう、看護体制を創造する者 管轄単位の管理責任者として看護経営に責任を持ち、病院経営に参画する者 |
| 看護教育者 | 臨床現場で学生や後輩の教育に関心を持ち、成人学習者に対する教育技法を用いて教育できる者 |
| スペシャリスト | 特定の専門領域や対象において卓越した実践能力を持ち、日本看護協会から認定看護師もしくは専門看護師の認定を受ける者 |
| 臨床研究者 | 臨床現場での実践に加え、研究活動が役割として病院長より認められている者 個人の研究活動にとどまらず、研究結果を臨床現場で活用することができる さらにスタッフの研究指導も行い、院外へ岡山大学病院の看護を配信できる者 |

看護管理者

入院棟西8階



看護師を目指した頃から変わらず、それぞれの患者さんにとって最適な医療は?看護は何か?を考え、質の高い看護を提供できる看護師を目指してきました。看護教育担当者として人材育成にも取り組み、その後、臨床現場で安全かつ安心な医療を提供するためにチームづくりやリーダーシップを発揮したいと思い、看護管理者になりました。スタッフ一人ひとりが生き生き働ける環境は患者さんにも安心感を与えることができます。看護師を目指す皆さんには、自分自身を大切にこそ、相手を大切にできることを忘れてほしいと思っています。

看護教育者

看護教育センター



看護教育センターで担当しているのは実習支援・調整と若手看護職員に看護技術を教える「おさらい塾」です。おさらい塾では看護技術を根拠だけではなく、起こりやすいインシデントや私が働く際に気をつけていた点なども伝えるようにしています。現場で患者さんと向き合って頑張っている若手の不安が軽減し、安心して笑顔で働けるよう、教育の面で支えています。おさらい塾に来てくれた若手看護師が「この前の技術が役に立ちました」と話してくれたときはとても嬉しく、看護教育者として、人を育てる楽しさ、やりがいを感じています。

特定行為看護師

手術部



特定行為看護師として、手術中の患者さんの麻酔管理を麻酔科医師と協働して行っています。具体的には動脈ラインの確保や血液ガス分析、人工呼吸器の設定変更や離脱、電解質輸液の調整や硬膜外カテーテルからの鎮静薬の投与などです。また当院では、麻酔科医の思考過程をリアルタイムに学ぶ機会があり、そうした経験を通じて看護の広がりを体感することができます。より深く医師・看護師の考えを理解することが安全な看護につながっています。

臨床遺伝子診療科の外来で患者さんと関わりながら、新医療研究開発センターでコメディカルスタッフの研究教育・個別の研究支援や自分自身の研究を進めています。臨床研究者は臨床と研究を融合させ、現場で役立つケアへつなげられる可能性があり、そこがとても大きな魅力だと感じています。これから臨床研究者を目指す皆さんは、自分が感じた「何? どうして?」を大切に、そしてそれを解決するために私も協力させてください。



認定看護師
(クリティカルケア)
入院棟西3階EICU

国際交流活動

◎国際交流支援WG

2017年5月、JMIP(外国人患者受入医療機関認証制度)の認証を受け、2022年11月には更新審査も受審しました。病棟や外来で海外の患者さんを受け入れる整備や事例検討を行っています。

◎JICA

JICAでの国際医療支援実績をもつ看護師もいます。次に参加を希望している職員もおり、可能な範囲で支援しています。



看護師特定行為研修

当院では、「術中麻酔管理領域パッケージ」「外科術後病棟管理領域パッケージ」「急性期コース」の3つの特定行為研修を実施しています。そして研修修了者が院内で活躍しています。



サポート体制と看護提供方式

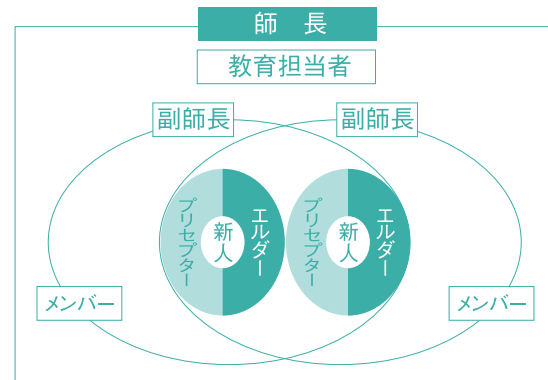
新人でも安心して仕事ができる みんなで育て、育つ支援体制

岡山大学病院看護部では、2011年度よりプリセプター制を導入しています。

スローガンは「みんなで育とう・育てよう」

新人看護職員（プリセプティ）に対し、エルダー、プリセプターを配置し、みんなで育てる体制にしています。

各自の役割を示すバッジをつけて、「みんなが育つ組織」を目指します。



Partnership Nursing System

PNS (パートナーシップ・ナーシング・システム) を導入しています

2013年度からPNSを導入しています。ペアで複数の患者さんを受け持ち、互いに対等な立場で、互いの特性を活かし、相互に補完し、協力しあう、福井大学医学部附属病院看護部発祥の看護提供方式です。



PNSの導入により、看護師や患者さんにとって様々な環境改善が図れます

患者さんのメリット

- ・担当が二人なので安心感がある
- ・点滴・薬・医師の指示などを二人で確認することで、安全性が高まる
- ・応援が必要な処置がその場で行える

看護師のメリット

- ・お互いの技術や知識の補完ができる
- ・慣れない処置もパートナーに相談できる
- ・効率的に看護が行えるので休憩が取れ、超過勤務が減る

勤務環境の改善へ

- ・患者さんの情報を共有するため、看護師間のコミュニケーションが活発になる
- ・看護の成果を共有し、意識しやすくなることで達成感と責任感が強まる

教育プログラム

教育方針

岡山大学病院は臓器移植、小児心臓外科、造血細胞移植などの高度先進医療の開発・実践において、全国でもっとも進んだ施設の一つであり、患者にとっては最後の砦とも言えます。高度先進医療の場面において、看護職には対象となる患者・家族の立場に立ち、何が最善かを共に考え、患者の権利と尊厳を守り抜く力が必要とされます。そして、リスクの高い患者の回復を促進するためには、フィジカルアセスメントを土台にした看護を効果的かつ確実に提供する力が必要とされます。

岡山大学病院で学びたい、看護をしたいという仲間への入職を歓迎し、「みんなで育とう・育てよう」のスローガンを基に相互に学び合う関係を築いていきます。そして本院の看護を、院内はもちろん、地域、日本、そして世界へと広める使命感を持って努力を続ける、そんな看護職を育てます。

また、大学病院は専門分化したユニークな医療人が集まる場



でもあります。互いの能力を尊重し合い、コミュニケーションを促進することで、大きなチーム力が発揮できます。看護職は生活という視点で患者の全体像をとらえる大きな視野を持ち、患者のために必要なケアを調整するチーム医療のキーパーソンです。そのため人間関係をしなやかに形成し促進する力が必要とされます。

当院看護部ではこれらの期待を受け、「看護教育センター」へ看護職員教育を一元化し、人材育成を行っています。

看護教育センター

《理念》 自律した専門職として、看護を通して社会に貢献できる人材を育成する

《目標》

以下のような看護職員を育成する

【基本的態度】

- ・倫理的感受性を常に磨き、対象者の権利と尊厳を守ることができる
- ・専門職として自律し、看護職の立場で発言できる
- ・多様性を認め、良質で柔軟なコミュニケーションができる
- ・組織人として、率先して自分の役割を遂行できる

【看護実践】

- ・根拠に基づいた看護を実施することができる
- ・看護につなげるフィジカルアセスメントができる
- ・対象者の力を引き出す看護ができる
- ・対象者に寄り添い、意思決定を支援することができる
- ・対象者を生活者としてとらえ、看護をつなぐことができる
- ・チーム医療のキーパーソンとなり、多職種と協働することができる
- ・幅広い知識と多角的な視野を持ち、より良い看護を探索することができる

【教育的側面】

- ・教育的関わりを通じて相互に学び合い、自らも成長することができる

【管理的側面】

- ・自己のキャリアパスを描くことができる
- ・客観的データ分析に基づいた組織運営ができる

【研究的側面】

- ・臨床的な疑問に気づき、発信できる
- ・看護の質を高めるためにエビデンスを探索することができる

以下のような役割を担う

- ・基礎教育から継続教育をつなぐ
- ・個々の描くキャリアプランに応じた支援をする
- ・地域および国際医療の向上のために、当院の知的財産や環境を提供する



◆ PNSの働き方—1日の仕事の流れ(日勤の場合)

8:00 出勤・情報収集

担当患者の情報収集はペアで分担

出勤打刻をして、当日の担当患者の情報収集を始めます。基本的に長日勤と日勤でペアを組み、分担して効率よく情報収集をします。



8:15 全体の申し送り

当日の予定や夜間の状況の共有

勤務者全員が集まり、患者さんの夜間の様子や当日の予定などを共有します。手術や化学療法、検査の予定などを全員で把握することで、お互いに補完がしやすくなります。

8:30 オペ出し・配薬・点滴準備

手術患者さんを手術室まで送って行ったり、朝の配薬や点滴の準備をします。ペアで点滴の確認をして準備をします。



8:50 ペアでミーティング

担当患者さんの情報やスケジュールを確認してラウンドの準備

お互いが情報収集をした内容を共有し、当日の業務スケジュールを組み立てます。ここは情報共有の場であると同時に重要なコミュニケーションの場になっています。ラウンド前に重症患者さんの観察ポイントを確認したり、疑問点を先輩に尋ねたりすることもできます。



9:00 ペアでラウンド

パートナーシップマインドを大切にしながら、毎日がOJT

ペアでベッドサイドへ行き、検温や点滴などを実施します。一人は患者さんの検温や身体症状などの観察を行い、もう一人はその情報を電子カルテに入力します。先輩看護師が実際に患者さんに向き合う姿を目の前で見ることができ、毎日のラウンドがOJTの場になっています。

10:30 オペ迎え・ICU迎え

手術後の患者さんや術後ICUへ入室した患者さんを迎えに行きます。病棟へ戻ってきたら、ペアで患者さんの全身状態を確認します。

11:00 交替して休憩(60分)

13:00 ペアでラウンド

術後患者の観察やケアなど

午前中と同様にペアでラウンドをします。術後の患者さんの観察や介助が必要な患者さんの清拭や洗髪などのケアを行います。



14:00 カンファレンスとリシャッフル

連絡事項の共有後、残務の確認とリシャッフル

ここでは連絡事項の共有をします。また患者カンファレンスでは多職種で治療方針や退院支援について話し合います。リシャッフルでは、各ペアの残務を発表します。その後ペアを新たに組み直し、定時終業に向けて業務を調整します。



15:00 ラウンドと記録

午後の点滴を行ったり、実施した看護ケアの記録をします。

16:30 残務引継ぎ

長日勤に残務を引き継ぐ
残務を長日勤ペアに引き継ぎます。



16:45 業務終了

退勤打刻をして業務を終えます。

◆ 福利厚生

生涯を通じて安心して働ける環境 子育てから和みの空間まで

結婚後も出産後もプライベートや子育てを楽しみながら、安心して働ける職場づくりを目指しています。育児支援制度としては、産前(8週間)産後(8週間)休暇に引き続き、育児休業が取得可能です。また、育児休業から復帰する際には、育児部分休業制度や育児短時間勤務制度を利用できます。産休や育休、保育所、出産後の復職支援など、生涯を通じて働き続けられる環境がここにはあります。



職員専用ラウンジ「和(なごみ)」

2017年、職員専用ラウンジが新設され、2020年にリニューアルしました。ソーシャルディスタンスに配慮した、よりゆったりと寛げるスペースになりました。また、女性スタッフ休憩室も併設されています。



保育所

当院には敷地内に収容人数90名の保育所を完備しています。



病児保育ルーム

専任の看護師・保育士が病中・病後のお子さんをお預かりする「ますかっと病児保育ルーム」も院内に併設しています。

夜間保育ルーム

月に1回程度、夜間保育を実施する「びおーね夜間保育ルーム」も院内に併設しています。専任の看護師が配置されています。



女性看護職員宿舎「ときわ寮」

個室1DK(エアコン、食器棚、クローゼット、ミニキッチン、ユニットバス、トイレ付)の宿舎が病院敷地内にあり、白衣で通勤できるので便利です。また宿舎費も安価で経済的です。



働き続けられる職場作り(WLB推進委員会)

2012年から3年間、岡山市看護協会のワーク・ライフ・バランス(WLB)推進事業に参加し、取り組んできました。その後も、アンケート等を利用して職員のニーズを吸い上げながら、子育て支援や介護支援、働き方改革について検討し、年に3回は「WLB通信」を発行して情報共有をしています。今後も、看護職員が仕事と生活のバランスを取りながら、働き続けられる職場作りに取り組めます。



命を守り、生活を支える看護職の育成

看護部研修計画

1年目

- **フォローアップ研修Ⅰ —職業人としての思考—**
就職初期に必要な医療安全行動を学ぶ。
静脈注射の基礎知識を得る。
抗がん剤の曝露による危険性を理解し、予防行動をとることができる。
看護職としての職務・責任を自覚する。
守秘義務の遵守、個人情報保護の重要性が理解できる。
就職後2ヶ月を経過した仲間の現在の心境や今後の目標を知り、お互い励まし支えあう。
- **フォローアップ研修Ⅱ —倫理的感受性の促進—**
静脈留置針挿入実施が手順に沿って行える。
職業人としての倫理的問題に気づく。
問題解決のために看護過程を展開する。
就職後半年経過した現在の状況を語り合い共有しながら、問題解決の糸口をつかむ。
- **フォローアップ研修Ⅲ —PNSマインドの育成—**
患者の気持ちを理解し、寄り添うことの大切さを学ぶ。
KYTを通して、リスク感性と医療安全行動に対する認識を高める。
チーム医療の構成員としての役割を理解できる。
1年間の自分の軌跡を振り返り、来年度への目標へとつなげる。
- **フィジカルアセスメントⅠ**
1年間の到達目標
①呼吸器系・循環器系に関する解剖生理が理解できる。
②異常呼吸音の聞き分けができる。
- **小児フィジカルアセスメントⅠ**
1年間の到達目標
①小児の解剖生理について学ぶ。
②小児のフィジカルアセスメントの特徴について学ぶ。
③小児のバイタルサイン測定について学ぶ。

2年目

- **フィジカルアセスメントⅡ**
1年間の到達目標
①呼吸器系・循環器系に関する身体診察技術を習得する。
②患者の変化を予測した意図的な情報収集ができる。
- **小児フィジカルアセスメントⅡ**
1年間の到達目標
①小児の呼吸器、循環器、免疫の解剖生理について学ぶ。
②小児の発熱、脱水に関する意図的な情報収集とアセスメント方法について学ぶ。
- **コミュニケーション**
—患者・家族、医療者との対話のコツ—
▶ロールプレイングを通して自己の行動の傾向や他者との関係をつくることの本質を体験的に学ぶ。
▶「倫理原則」「看護者の倫理綱領」を理解し、コミュニケーションに活かす方法を考える。
▶患者や家族・医療者と対話し、思いや希望を意図的に知り、看護師の役割を考える。
- **チーム医療Ⅰ**
—メンバーシップ—
▶リーダーとは何かを理論的に学び、組織における自らのメンバーシップについて考える。
▶課題の解決に向けた対応方法を自らの力だけでなく他者と協力して見出すことができる。



3年目

- **フィジカルアセスメントⅢ**
1年間の到達目標
①呼吸器系・循環器系・消化器系・中枢神経系に関する意図的な情報収集・アセスメントができる。
②看護実践の結果を含め、患者の変化を適切に医療チームに報告することができる。
- **小児フィジカルアセスメントⅢ**
1年間の到達目標
小児の意識レベルおよびけいれん発作の観察方法がわかる。
- **チーム医療Ⅱ**
—リーダーシップ—
▶組織の目標に沿ったリーダーシップについて考える。
▶他部署、他職種のスタッフとコミュニケーションを図り、多様性を理解する。
▶自身の行動を振り返り、チームメンバーの力を引き出すための方法を言語化できる。
▶他部署訪問を通して、視野を広げ、看護観を見つめ直す。
- **看護と倫理Ⅰ**
▶臨床現場で倫理的な看護実践を行うために必要な看護者としての「気づき」を育成する。



選択研修

【目指すラダーレベルⅠ】

- ストーマケア(初級者編)

【目指すラダーレベルⅡ】

- 手術看護
- がん看護Ⅰ
- 高齢者看護
- 皮膚・排泄ケア

【目指すラダーレベルⅢ】

- 意思決定支援
- エンドオブライフケア
- 効果的なOJT
- がん看護Ⅱ・Ⅲ
- クリティカルケア看護
: Basic・Advance
- 慢性疾患看護
: 心不全看護・糖尿病看護
- 生活を支える看護

【目指すラダーレベルⅣ】

- 看護と倫理Ⅱ
- リフレクション
- 管理者研修(副看護師長対象)

【目指すラダーレベルⅤ】

- 管理者研修(看護師長対象)
: 看護管理者勉強会・
管理者のためのコーチング

【目指すラダーレベルⅡ～Ⅴ】

- フィジカルアセスメントAdvance

【ラダーレベルを問わない】

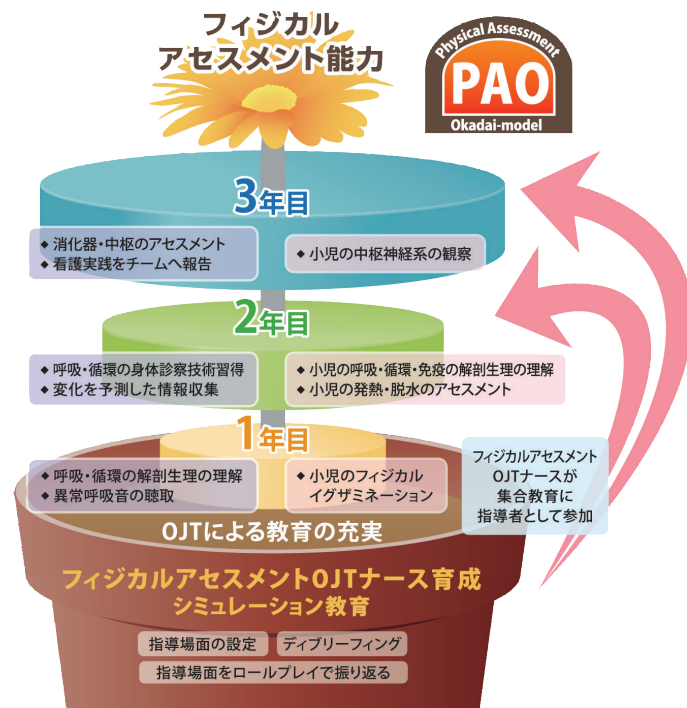
- 感染防止技術
- CMA-Okayama ICLS
- 看護師のグローバル人材育成
- コミュニケーションⅡ
- ナースのための英会話
- 臨床研究

(2024年度)

フィジカルアセスメント 岡大モデル(PAO)

Physical Assessment Okadai-model

看護職には生活する人を支援し「命を守る」、さらには「回復を促進する」フィジカルアセスメントが必要不可欠な能力です。そのため就職後3年間で看護実践につながるフィジカルアセスメント能力を強化することにより、自信を持って看護ケアが提供できることを目的として、1年目から3年目までの系統的フィジカルアセスメント教育プログラムであるPhysical Assessment Okadai-model(PAO)を開発し、実施しています。小児領域の患児が多い当院の特徴を反映し、小児のフィジカルアセスメントに関する目標も盛り込んでいます。1年目は呼吸音聴取のスキルを習得し、2年目では呼吸・循環を中心とした事例による検討、3年目は消化器や中枢神経系も含めた複雑な事例のシミュレーションを行っています。起こっている状況から仮説を立て、意図的な情報収集をし、情報を統合して判断する臨床判断の思考を強化する内容となっています。さらに臨床現場でフィジカルアセスメントを根付かせ、OJTによる教育を強化する目的で、副看護師長を中心とした「フィジカルアセスメントOJTナース」も各部署にあります。



シミュレーション研修の充実

スキルラボとシミュレーターを様々な方法で活用し、看護職員の能力アップを図っていきます。

【採用時新人看護職員研修】

採血・BLSなどの演習を、数多くのシミュレーターを使って実践します。

【フィジカルアセスメント研修】

シミュレーターを用いて、事例のシミュレーションを展開していきます。何が起きているか意図的な情報収集とアセスメントを行います。



【看護技術おさらい塾】

静脈留置針挿入などの基礎看護技術をはじめとして、気管挿管介助などの看護技術の演習を定期的に行っています。

【各部署が企画運営するシミュレーション研修】

各部署の教育担当者が中心となり行っています。タイムリーに行うことで効果的なシミュレーションの実現となっています。

思い立った時いつでも演習ができる

スキルラボ シミュレーションによるスキルアップトレーニング

岡山大学病院には、採血・吸引・胃管挿入・洗腸・導尿など、20種類以上のシミュレーターやモデルを完備した「スキルラボ」があり、いつでも誰でも自習が可能です。「先輩に教わったあの技術を、忘れないうちに復習したい」、「復帰前に技術の確認をしたい」など、思い立った時にすぐ演習ができる環境があります。



